

アスクル豊洲本社ビルで再生可能エネルギーの全面導入が開始 グループ全体の再生可能エネルギー使用率 65%を達成

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:吉岡晃、以下「アスクル」)は再生可能エネルギーの導入を進めてきましたがこのたび、本社・物流センター・子会社を含めたグループ全体における電力使用量の65%が再生可能エネルギーとなりました。これは新たに当社の豊洲本社ビルにおいて使用する全ての電力が再生可能エネルギーへ切替わったことによるものです。今回、当社がオフィス利用として契約する豊洲本社ビルのオーナーが「RE100」達成に向けた取組みの一環として、豊洲本社ビルで使用する全ての電力に再生可能エネルギー由来の電力を調達し切替えが実現しました。

脱炭素社会の実現に向けた取組みとして、2016年に「2030年CO2ゼロチャレンジ」を掲げ、2017年には事業運営に必要な電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる「RE100」に加盟し、2018年から再生可能エネルギーの導入を着実に推進してまいりました。

アスクルはこれからも、持続可能な社会の実現に向けて企業としての社会的責任を果たすとともに、事業の全領域において環境負荷低減の活動に取り組んでまいります。

■アスクル「豊洲本社ビル」で使用する電力は全て再生可能エネルギーへ

アスクルは「RE100」の中間目標として、2025年までに本社および物流センターでの再生可能エネルギー利用率を100%に、そしてゴールとして2030年までに子会社を含めたグループ全体での再生可能エネルギー利用率を100%にすると宣言しています。今年4月の再生可能エネルギー導入に続き、今回は新たに「豊洲本社ビル」において、非化石証書(※)を活用した再生可能エネルギーが全面導入されました。これにより、本社・物流センター・子会社を含めたグループ全体の電力における電力使用量の65%が再生可能エネルギーに切り替わりました。

アスクルはこれからも、積極的に再生可能エネルギーの導入を進めてまいります。

(※)再生可能エネルギー由来のCO2排出量ゼロの付加価値(環境価値)を証書化したもので、RE100に対応している電力

【アスクルの再生可能エネルギー導入の取組み】

- ・2018年5月1日 「大阪 DMC」(大阪市此花区北港緑地 2-1-66)
- ・2018年6月1日 「仙台 DMC」(宮城県仙台市宮城野区仙台港北 2-5-2)
- ・2018年6月1日 「名古屋センター」(愛知県東海市浅山 2-47)
- ・2018年7月1日 「ASKUL Logi PARK 福岡」(福岡県福岡市東区みなと香椎 2-2-1)
- ・2020年7月1日 「ASKUL Logi PARK 横浜」(神奈川県横浜市鶴見区生麦 2-4-6)
- ・2020年8月8日 「新木場物流センター」(東京都江東区新木場 2-6-8)
- ・2021年7月1日 「ASKUL Value Center 関西」(大阪府吹田市岸部南 3-34-1)
- ・2021年12月1日 「ASKUL Value Center 関西」(大阪府吹田市岸部南 3-34-1)
- ・2022年4月1日 「DCM センター」(東京都江東区青海 4-1-16)
- ・2022年5月1日 「豊洲本社ビル」(東京都江東区豊洲 3-2-3)

アスクルは今後も「エシカル e コマース」を目指し、サプライチェーン全体におけるCO₂削減に向けた取組みを通じて、サステナブルな社会の実現に向けて着実に取り組んでまいります。

【関連プレスリリース】

- 2022年4月12日:グループ全体の再生可能エネルギー使用率 63%を達成
<https://pdf.irpocket.com/C0032/Ts7h/VRF6/DTZc.pdf>
- 2021年12月1日:再生可能エネルギーを追加導入 グループ全体の電力使用率 57%を達成
<https://pdf.irpocket.com/C0032/ZJpV/QlgU/rMKD.pdf>
- 2021年7月30日:ラストワンマイル向けに新たな電気自動車を導入
<https://pdf.irpocket.com/C0032/GbYe/mkjE/f3t6.pdf>

※本リリースに掲載の情報は発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますのでご了承ください。